

証明書 発行日	年 月 日
証明書 発行No.	

3 年 間 保 存

溶接部のき裂・損傷の検査については、目視にて異常のあった場合、探傷器による検査を確実に実施すること。

超音波探傷検査を行った場合、検査実施者氏名、資格番号を本記録表に記載すること。

検査方法の記号は次のとおりである。PT:浸透探傷,UT:超音波探傷

新車登録	年 月
経過年数	年 ヶ月

業者名	
報告書番号	
資格者氏名	
資格番号	

[illegible]

証明書 発行日	年 月 日
証明書 発行No.	

標章No.

3 年 間 保 存

区分	NO.	検査箇所	検査内容	符号	検査方法※1	検査結果		補修内容				
						良	不良					
リンク	2	リンク（図示の各部を含む全体）	亀裂、損傷、連結部がた、抜け止めボルト取付（緩み、脱落）	2-1-1 2-1-2 2-2-1 2-2-2 2-3-1 2-3-2 2-4-1 2-4-2	目視、PT、UT、スケール							
		第一屈折部	第二屈折部									
旋回装置	34	ターンテーブル（図示の各部を含む全体）	亀裂、変形	34-1 34-2 34-3 34-4 34-5 34-6 34-7	目視、PT、UT、スケール							
架台	38	サブフレーム（図示の各部を含む全体）	亀裂、変形、取付	38-1 38-2 38-3 38-4 38-5 38-6 38-7 38-8	目視、PT、UT、スケール							
アウトリガー	40	ビーム、ビームボックス、フロート（図示の各部を含む全体）	引っ掛かり、亀裂、変形	40-1-1 40-1-2 40-1-3 40-2-1 40-2-2 40-2-3 40-3-1 40-3-2 40-3-3 40-4-1 40-4-2 40-4-3	目視、PT、UT、スケール							
		アウトリガーは一杯伸長して検査										
		ジャッキ付根 40-1-2 ビームボックス 40-1-1(CN) 40-2-1(CN) 40-1-3 左 右 フロントアウトリガー	ジャッキ付根 40-2-2 40-2-3 リアアウトリガー									
備考	1.検査結果が異常なものは図中にその内容を記載する。 2.過去補修箇所、新たな異常箇所のある場合は、図中、表中に追加番号を記入し検査結果を記載する。				記号	交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
						X	△	A	T	C	L	-